

解 説



第23回品質工学研究発表大会振り返り

Review on the Papers in the 23rd Quality Engineering Society Annual Meeting

明吉 秀樹^{*1}

Hideki Akiyoshi

嶋下 隆志^{*2}

Takashi Kamoshita

田村 希志臣^{*3}

Kishio Tamura

中島 建夫^{*4}

Takeo Nakajima

浜田 和孝^{*5}

Kazutaka Hamada

矢野 耕也^{*6}

Koya Yano

矢野 宏^{*2}

Hiroshi Yano

(司会) 吉澤 正孝^{*7}

Masataka Yoshizawa

1. 研究発表大会を振り返るにあたって

全体の振り返り

(司会)吉澤 大会の感想、反省や参考にすべきところを議論していきたい。今回の大会は、会場も変わり大ホールで4つのセッションが企画された。またパネルも発表方式の工夫がなされた大会となった。大ホールは、学会としてのマクロ視点での品質工学を意識した構成になっている。学会はここ数年意思を出した活動を実施しようとしているが、われわれは着実に進んでいるのか議論したい。また、受賞した発表の中味についても気付きがあったものは、審査部会として会員へフィードバックしたい。

明吉 今年の受賞の研究は以下の通りである。

金賞：

気象・海象情報を用いた赤潮発生判別 [発表番号2]

水野健一郎* (*広島県立総合技術研究所, 正会員)

銀賞：

工場空調の最適化 [発表番号45]

寶山靖浩* (*リョービ(株), 正会員)

*1 元(株)リコー

*2 応用計測研究所(株)

*3 コニカミノルタ(株)

*4 東京電機大学

*5 Hamada Quality Solution

*6 日本大学

*7 クオリティ・ディープ・スマーツ(有組)

「売れる機械を予測する」マーケティングへのMTシステム適用を考える 第3報 [発表番号3]

天谷浩一^{*1}, 横田喜数^{*1}, 前田敏男^{*1}, 矢野宏^{*2}
(*1 (株)松浦機械製作所, 正会員, *2 応用計測研究所(株), 正会員)

ハミガキ剤製品開発のための技術開発 [発表番号5]

秋元美由紀*, 安藤欣隆* (*エスケー石鹸(株), 正会員)

品質工学研究発表大会実行委員長賞：

バーチャル設計を用いたシャッタ機構の設計 [発表番号47]

奥澤 翔*, 埴原文雄* (*コニカミノルタ(株), 正会員)

品質工学会会長賞：

基幹設備の点検・保全方式の検討 [発表番号67]

長尾 友^{*1}, 江末良太^{*1}, 宇野哲也^{*2}, 吉川尚孝^{*2}, 小木曾元一^{*1} (*1 (株)IHI, 正会員, *2 (株)IHI)

矢野 (宏) 学会の研究発表だから新規性、独創性を問うが、幅が広いから業種分野、テーマを選んだだけで新しい研究となる。問題はテーマの切り口だ。切り口をどう作るかを評価する必要がある。名人の居合切りの切り口と、へぼの居合切りの切り口とはまったく違う。

吉澤 今回、受賞したのは、大ホールのテーマから選ばれている。ある意味で、マクロ視点、大きな流れの中で研究テーマが選択されたと考える。今、矢野宏から切り口、スピードの視点が重要であるとい